



～地域と関わりながら～

今回のYCS通信では、主に地域交流や地域貢献活動の様子を紹介します。新型コロナウイルスの影響も少なくなり、交流の回数も徐々に増えてきています。地域の方々のご協力を得ながら、貴重な機会を大切にし、交流を続けることができている。ゆり支援学校の良さ、児童生徒たちのがんばりを知ってもらう機会になればと思っています。

小学部

TDK野球部との交流

TDK野球部の皆さんによる野球教室が、10月25日に行われました。今年度で3年目になります。子どもたちはかっこいい選手の「いいぞ」「上手」などの言葉掛けを受けて、笑顔いっぱいキャッチボールをしたり、バットを振ったりして、野球の楽しさを存分に味わっていました。最後は、小学部応援団から選手に熱いエールを送りました。子どもたちは「打つのが楽しかった」などと話し、野球も選手も大好きになったようです。今後も野球に親しんでいくとともに、地域の人たちとの関わりを大切にしていきたいと思っています。

交流日の翌日に、プロ野球ドラフト会議で権田投手がオリックスに指名され、本校一同沸き立っていました。



バッティング練習



キャッチボール

鶴舞小学校4年生との交流

小学部では毎年、鶴舞小学校との交流を行っており、今年度は9月26日と11月1日に行いました。

1回目の交流では、コロナ禍で見合わせていた始まりの会を全体で行いました。鶴舞小学校児童と一緒に歌った「にじ」の歌声が会場いっぱいに響き一体感に包まれる中、交流がスタートしました。その後、8班に分かれ「いす取りゲーム」「風船バレー」「ポッチャ」などの活動を行いました。本校の児童の動きや表情を見ながら自然な関わり合いをしている様子が印象的でした。

2回目の交流では、「宝探し」「すごろく」「射的」などを鶴舞小学校4年生のみなさんが準備してくれました。みんなが一緒に楽しめるようにゲームのルールや道具を考えるなど工夫しており、お互いに笑顔になる温かい交流となりました。今後も様々な人との触れ合いから、気付きや学びにつながるような交流を継続していきたいと考えています。



いす取りゲーム

中学部

由利中学校との交流

中学部1年生では、小学部から重ねてきた居住地校交流のつながりを継続し今年度は、本荘東中学校、由利中学校、仁賀保中学校と1年生全員で交流をしました。10月の由利中学校との交流では、生活単元学習で行なった実験を教えたり、一緒にポッチャを楽しんだりしました。由利中学校の生徒からは、「実験が楽しかった」「ポッチャは見たことがあるけど、初めて体験して難しかった」「ゆり支援の友達が上手だった」など様々な感想が聞かれました。

実験やゲームを通して、楽しい時間を共有した1年生。これからも地元の友達とのつながりを大切にしていきたいと考えています。



ポッチャの説明中



中学部 第54回全国ごてんまりコンクール

中学部手芸班では、「第54回全国ごてんまりコンクール」に向けて4月からミニまり作りに取り組んできました。ミニまり作りは、3年目の活動になります。手芸班のメンバーは、昨年度と大きく入れ替わっていますが「今年度の大きな挑戦！」として取り組みました。

ゆり支援学校の作品コーナーがパンフレットにも掲示されたくさんの来場者の方に見て触っていただきました。ゆりほんTVや実際に見に来てくださった方のSNSでも取り上げていただいたことが、生徒たちの自信につながり、伝統工芸に挑戦する意欲が高まりました。

由利本荘市観光振興課の方々にもたくさんご協力頂きながら進められました。



中学部手芸班 ミニまり製作中

高等部

「ひがしゆり栗の里づくりプロジェクト」

総合的な探究の時間に高等部の3年生の生徒たちから「地域の人々の役に立つ活動がしたい」という意見を受け、由利本荘市地域おこし協力隊が行っている活動に参加しました。それが「ひがしゆり栗の里づくりプロジェクト」です。夏休み明けの8月下旬に東由利の高館山へ行き、風の草刈り（風で揺らいている部分を刈る）などの作業をして栗の木の管理を手伝いました。また、9月下旬には人と自然との共存などについて学習しました。地域の方と一緒に活動する中で新たな学びや発見ができました。



風の草刈りの方法を習得中



地域ボランティアの方々と記念撮影

令和5年度秋田県特別支援学校就労促進フェア（県央地区）

12月6日（水）、由利本荘市文化交流館カダーレにおいて「令和5年度秋田県特別支援学校就労促進フェア（県央地区）」が開催されました。県央地区の特別支援学校生が集まり、「夢の実現に向けて」をテーマにした実践発表や、作業学習製品等の展示・販売、日ごろの作業学習で培った技能を競う「練成会」を行いました。

CS委員の方々には「練成会」喫茶サービス競技のお客役として参加していただく等、たくさんの御協力を頂きました。間近で生徒の緊張感を感じたり技能に触れたりして頂き「本気」が伝わったと思います。地域の企業だけでなく、カダーレを訪れた多数の利用者も作業学習製品や競技の様子に足を止め、生徒の「働く力」に感心する言葉が聞かれました。特別支援学校の生徒の頑張りを知っていただき、とても良い機会となりました。



ビルクリーニング競技



ワードプロセッサー競技



作業製品販売会



実践発表

ゆり支援学校は地域交流・地域貢献活動を続けていきます。今後も地域の皆様に、本校児童生徒の自立と社会参加をサポートしていただけると幸いです。これからもよろしくお願いします。